

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	栃木県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	栃木県矢板市立東小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	0	12	19
児童数	76	57	62	67	61	60	0	382	

研究の概要

1. 研究主題

児童一人一人に確かな学力を身に付けさせるための個に応じた学習指導の工夫・改善

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

・1～6年生・算数  
児童の理解度に差が出やすいため、習熟度別指導が他教科より効果的な教科と考えられるので

(2) 年次ごとの計画

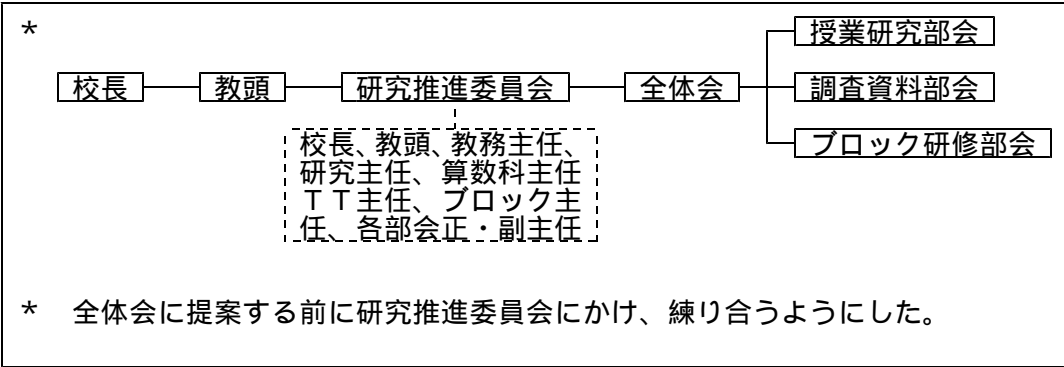
平成14年度	<p>テーマ 児童一人一人に確かな学力を身に付けさせるための個に応じた指導のあり方 仮説 T・T指導、少人数指導、習熟度別指導等、指導方法の工夫を行い、より個に応じた指導・支援を実施することにより、児童一人一人が基礎的・基本的な内容や発展的な内容を確実に身に付け、意欲的・主体的に学び、確かな学力を身に付けることができるだろう。</p> <p>研究の内容・方法 ・研究授業を通して、少人数指導や習熟度別指導の進め方を研究する。 ・本校児童の実態調査を実施し、実態に即した指導のあり方を研究する。</p>
--------	---

平成15年度	<p>テーマ 児童一人一人に確かな学力を身に付けさせるための個に応じた学習指導の工夫・改善 仮説 T・T指導、少人数指導、習熟度別指導等、指導方法の工夫を行い、より個に応じた指導・支援を実施することにより、児童一人一人が基礎的・基本的な内容や発展的な内容を確実に身に付け、意欲的・主体的に学び、確かな学力を身に付けることができるだろう。</p> <p>研究の内容・方法 ・学び方のマニュアルを作成し、授業、学習タイムや家庭学習を通して学び方を身に付けさせる。 ・CRTテスト、力試しテストの分析、内容の系統性などから各学年の重要単元を洗い出し、時間配当、展開などを考慮しT・T、少人数指導、習熟度別指導の年間計画への位置づけを行う。 ・研究授業を通して、個に応じた指導のため、T・Tや少人数指導を効果的に取り入れるための研究をする。 ・ブロック研修部を中心にして、発展的な教材や補足的な教材の開発を行う。</p> <p>* テーマは14年度の研究をもとに、15年度は「個に応じた学習指導の</p>
--------	--

工夫・改善」と変更した。

平成16年度  
**テーマ**  
 児童一人一人に確かな学力を身に付けさせるための個に応じた学習指導の工夫・改善  
**仮説**  
 T・T指導、少人数指導、習熟度別指導等、指導方法の工夫を行い、より個に応じた指導・支援を実施することにより、児童一人一人が基礎的・基本的な内容や発展的な内容を確実に身に付け、意欲的・主体的に学び、確かな学力を身に付けることができるだろう。  
**研究の内容・方法**  
 ・児童一人一人の支援に生かす評価の進め方。  
 （事前テストのあり方、事中評価の進め方とその生かし方、事後評価とその生かし方）  
 ・効果的な自己評価のあり方  
 ・発展的な教材、補充的な教材の開発と単元への位置付け

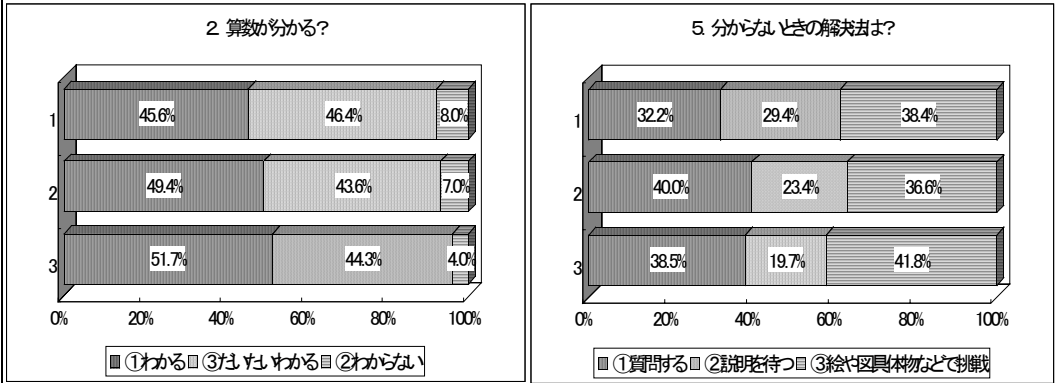
(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

低学年はT・T、中・高学年は習熟度別指導を中心に研究してきたが、実態調査を見ても分かるように、望ましい傾向が見られる。  
 ・ ・ ・ 児童の意識調査より ・ ・ ・  
 <算数が分かる？>  
 分かるが増え、分からないが減ってきている。確かな学力を構成する「知識・技能」が身に付いてきていると考えられる。  
 <分からないときの解決法は？>  
 質問する、絵や図・具体物などで挑戦するなど、積極的な態度が見られる。確かな学力を構成する「問題解決力」が身に付いてきていると考えられる。  
 (1:平成14年9月、2:平成15年2月、3:平成15年6月実施)



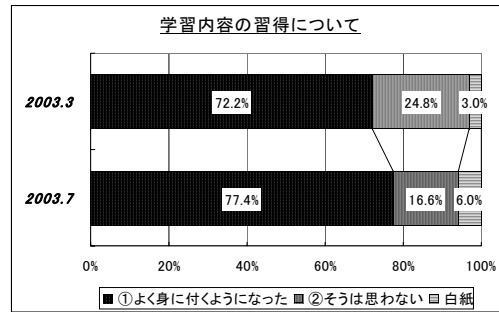
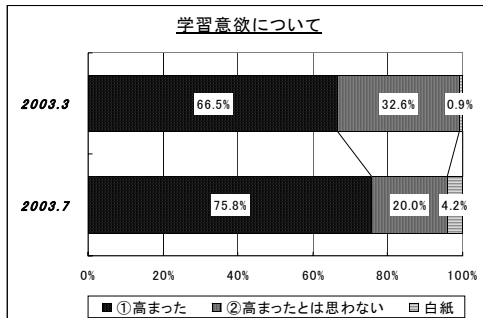
少人数指導を始めて6ヶ月後、10ヶ月後の児童の様子(保護者の意識調査より)

<学習意欲について>

学習意欲が高まってきたととらえている保護者は1回目と比べると、約10%増え、75.8%となっている。このことは、教材提示や発問の工夫等をして問題解決的な学習を重視してきたからと考えられる。確かな学力を構成する要素である「学ぶ意欲」が身に付いてきていると考えられる。

<学習内容の習得について>

学習内容がよく身に付くようになったととらえる保護者は、1回目と比べると約5%増え、77.4%となっている。算数的活動を積極的に取り入れることや、多様な考え方や理由を問うこと等を通して、学習内容が身に付いてきていると考えられる。確かな学力を構成する要素である「知識・技能」が身に付いてきていると考えられる。



\* これまでの実践をもとに確認できたこと(成果)

<問題解決能力の育成を通して>

(児童)

- ・「発達段階における問題解決する児童の姿」(算数科)を明確にし、自力解決の手だてとしたので、結果を予想したり、見通しを立てたりして進んで問題解決する姿が見られるようになった。
- ・自分の考えだけでなく友だちの考えも書くなど、ノートの取り方に工夫が見られるようになった。
- ・練り合いの段階では、自分の考えと友だちの考えの似ているところや違いに着目して発言しようとする姿が見られるようになった。

(教師)

- ・「発達段階における問題解決する児童の姿」(算数科)を明確にしたので、共通理解のもとに授業を進めることができた。
- ・児童が疑問をもったり新しいことに気付いたりするような教材の工夫、導入や提示の工夫に心がけるようになった。
- ・児童の疑問(なぜ)や、つまづきを大切に授業を進めるようになった。

<T・T指導を通して>

- ・多様な考え方にふれることができ、他の解決法はないかと自分でも進んで考えるようになった。
- ・分からないときや失敗したときに、すぐに教えてもらったり励ましてもらったりできるので、意欲が高まった。
- ・多くの先生と本音で話し合えるようになり、今まで見えなかったすばらしさに気付くことができた。

- ・多様な見方ができ、児童を深く見るようになるようになった。
- ・児童一人一人のつばやきやつまづきを丁寧に取り上げ、意図的に授業に生かすようになった。
- ・互いの教材観を話し合う中で、それぞれの教師の特性が生かされ、教材研究が深まり教材の準備が充実するようになった。
- ・問題把握時に教師同士のやりとりを行うことを通して、解決の意欲や関心を、より喚起することができた。

<習熟度別指導を通して>

- ・一人一人に関わる時間が多いので集中して取り組むようになった。
- ・どのコースの児童も周りの目を気にせず安心して自分をさらけ出して学習に取り組めるようになった。
- ・到達度の高い児童は、より深い学習に取り組めるようになった。
- ・コースによっては、課題把握が短時間で済み、問題解決、練り合い等に十分な時間が取れるようになった。

- ・基礎・基本コースは特に少人数にしているのので、一人一人に関わる時間が多く確保できた。
- ・等質なので、めあてが共有しやすく、焦点をしぼって授業を進めることができる。
- ・等質なので、教材・教具も、よりそのコースに合った物が用意しやすい。

・自分にあった学習ができる。

## 2. 今後の課題

・知識、技能はとらえやすいが、その他の能力である問題解決能力、思考力、判断力、表現力等とはとらえにくい。確かな学力が身に付いたかどうかを把握するには、少しでも見えるようにしていく必要がある。  
・児童一人一人がめあてをもって、意欲的に主体的に取り組む態度を身に付けさせるためにも、適切な評価（自己評価も含む）の進め方の研究を一層進める必要がある。

### 学力等把握のための学校としての取組

	たしかめテスト	意識調査	CRT学力検査	力試しテスト
目的	技能の100%定着	意識の把握	観点別の到達度把握	多様な考え方や表現力の把握
内容	計算力の問題	学習意欲や態度等	4観点の問題	発展的な問題 考え方や理由を問う問題も出題
時期	5月、2月	6月	2月	2月

### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- (1) 校内研究会  
日時：平成15年12月3日(水) 12時40分～16時30分  
場所：矢板市立東小学校  
対象：矢板市内小・中学校  
目的：これまでの研究の概要と成果を知らせ、講話を聴き、ともに研修する。
- (2) 講演会  
日時：平成16年1月26日(月) 14時30分～16時30分  
場所：矢板市立東小学校  
対象：矢板市内小・中学校  
目的：「確かな学力の向上について」の講話を聴き、ともに研修する。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】       15年度からの新規校       14年度からの継続校
- 【学校規模】               6学級以下                       7～12学級  
                                  13～18学級                       19～24学級  
                                  25学級以上
- 【指導体制】               少人数指導                       T・Tによる指導  
                                  一部教科担任制                       その他
- 【研究教科】               国語                       社会                       算数                       理科  
                                  生活                       音楽                       図画工作                       家庭  
                                  体育                       その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】       有       無